

令和5年度事業報告書

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月には5類に移行され、日常が戻り、急速な需要回復の動きとなりました。しかしながら、コロナ過を経て減少した職員の補充、人材確保に苦慮し、人手不足の中、供給が追いつかず、特に調理人やサービス員、客室清掃係に不足が生じ、宴会及び宿泊においては、年間を通して受注制限や調整を行いながらの営業となりました。

また、人件費や物価の上昇を受け、各部門料金を見直し、料金改定、単価アップを行った事業もありました。

利用状況は、年間利用者292,130人の目標に対して、8,499人増の300,629人、対前年では6,440人の増となりました。事業収益は、618,257千円の目標に対して16,314千円増の634,571千円、対前年では60,688千円の増収となりました。結果、税引後の損益（当期一般正味財産増減額）は28,020千円の黒字となりました。

各部門の利用状況等は以下のとおりです。

I 勤労者福祉事業等

1 雇用促進、就業支援事業

札幌市が主催する「合同企業説明会」「労働安全衛生パネル展」等に協力しました。なお、市内高等学校等のインターンシップ事業の受入は、学校等からの要望もありましたが、人員不足から対応が困難な為、実施しませんでした。

2 地域関連事業

地域社会への貢献を目的として、『スローライフ・イン・に～よん』事業をはじめとする町内会、商店街、料飲店協会等が主催する事業に可能な限り参加・協力しました。コロナ禍も明け、この地域の祭りである「ノースロード24フェスタ」も再開しました。

主な事業の状況は、以下のとおりです。（ ）内は日程等

- (1) 暴力追放街頭啓発活動（毎月1日、基本10日）
- (2) アダプト・プログラム（清掃作業：4月～10月第3日曜日）
- (3) フラワーロード事業（5月下旬～9月末）
- (4) ノースロード24フェスタ（7月19・20日：屋外（正面）、広場他）
- (5) 24「ワンコイン商店街」（10月21日：広場）実施
- (6) 24ロードウインターフェア（12月11～31日売出：スクラッチ方式）
- (7) に～よんエリアミュージックフェスティバル（1月28日：ホール）
- (8) だがしや学校（1月28日：広場）
- (9) に～よんアイスクャンドルナイト（2月5日～7日：小公園）

II 札幌サンプラザ運営事業

1 プール

水泳教室の料金改定（概ね1,000円値上げ）を実施しましたが、値上げの影響は受けず夏場にかけて会員数は増加の傾向となりました。しかしながら、秋口（9月）に採暖室のヒーターが故障し、整備修理に時間を要し、冬場にかけて採暖室が使用できなかった影響もあり、年度末には対前年44名減の714名となりました。

利用状況は、対前年、水泳教室で1,801人増の42,582人、一般開放で397人増の16,190人、合わせて2,198人増の58,772人（平成30年度の71.7%）となりました。

（）内は令和4年度実績、1日平均は休業日数を除外して算出

(1) 水泳教室	利用人数	42,582人	(40,781人)
	1日平均	122人/日	(115人/日)
(2) 一般開放	利用人数	16,190人	(15,793人)
	1日平均	46人/日	(44人/日)

2 音楽ホール

例年ご利用のコンクールや発表会など、予定通り開催され、興行系のご利用も見られるようになりました。一件当たりの利用人数（客入り）は、まだまだ、コロナ禍前には及ばない状況ですが、対前年5人増の247人となりました。

利用状況は、対前年、件数で23件増の179件、人数で6,503人増の44,201人（平成30年度の69.4%）の利用となりました。

（）内は令和4年度実績

(1) 利用件数	179件	(156件)
(2) 利用区分数	403区分	(361区分)
1件あたり	2.3区分/件	(2.3区分/件)
(3) 利用人数	44,201人	(37,698人)
1件あたり	247人/件	(242人/件)
(4) 稼働率	55.4%	(49.8%)

※ 利用区分は、1日を午前、午後、夜間の3区分としたもの

3 文化教室

使用料金の改定（概ね10%アップ）を実施しましたが、子供向けの公文式の教室やリトミック教室など、新たな講座の開講があり、講座数は5講座増の125講座となりました。利用人数も対前年2,662人増の25,702人となり、コロナ禍前の平成30年度と比較しても2,345人の増となりました。

文化教室の作品展、PR事業として、10月3日から6日までの4日間、1Fふれあい広場でカルチャー祭を開催（再開）しました。

（）内は令和4年度実績

(1) 講座数	125講座	(120講座)
(2) 利用人数	25,702人	(23,040人)

4 会議・研修

6月まで札幌市保健所のコロナワクチンの集団接種会場として、2階金枝の間、平安の間の他、3階4室の利用がありました。7月から全館的な通常営業となり、顧客を中心に販売促進に努めました。施設見学プランを再開し、地域、町内活動の需要に応えた他、宿泊団体の利用も回復してきました。

対前年の利用状況としては、前年がほぼ全館的に札幌市保健所の利用であったことから、件数で2,717件減の1,820件、人数で対前年36,685人減の61,538人（平成30年度の64.1%）となりました。

（令和4年度実績：4,537件、98,223人）

5 宿泊

スポーツや文科系など各種大会への参加や合宿等、サッカーや野球など団体客の利用も増えてきました。急速なインバウンド需要の回復などから客単価はアップしましたが、客室清掃の人手不足から、需要に応えきれず、受注制限、調整を図りながらの営業となりました。

利用人数は、団体利用の増加から対前年268人増の14,843人（平成30年度の70.0%）となりましたが、客室稼働率は、対前年1.6ポイント減の51.0%（平成30年度と比較して17.7ポイント減）となりました。

（令和4年度実績：14,575人、客室稼働率：52.6%）

6 レストラン

日中の人の流れは戻ってきましたが、夜間の需要を踏まえ、7月から営業時間を1時間短縮し原則20時までとし、団体予約が入った場合などは、延長するなど臨機応変な営業としました。コストの上昇に対応するためマスターメニューの見直し改定（値上げ）を実施し、季節ごとのイベントメニューを提供するなど集客を図り、引き続き、テイクアウトやデリバリーサービスを活用し収入確保に努めました。

利用人数は、対前年9,521人増の69,161人（平成30年度の72.8%）となりました。

（令和4年度実績：59,640人）

7 宴会

（1）一般宴会

顧客、地域・町内会等の会合を中心に需要が回復し、市内中心部の同業他社の価格高騰から新規の問い合わせも増加する動きとなり、単価アップの受注に努めました。大人数の宴会も増え、料理も大皿で提供できるようになりましたが、調理及びサービス員の不足から受注制限、調整を図りながらの営業となりました。

利用件数は、対前年429件増の584件（平成30年度の52.0%）、利用人数は、対前年21,400人増の24,558人（平成30年度の46.3%）となりました。

（令和4年度実績：155件、3,158人）

(2) 法要

内覧会を年4回実施した他、ポストインやダイレクトメールを中心に受注に努めました。年度の初めは、折詰、お届け膳でのご利用でしたが、夏場以降は会場内でのご会食のご利用となりました。しかしながら、宴会同様、人手不足から制限を設けての受注となりました。

利用件数は、対前年28件増の137件（平成30年度の78.7%）、利用人数は、対前年573人増の1,854人（平成30年度の70.0%）となりました。

（令和4年度実績：109件、1,281人）

Ⅲ 理事会及び評議員会の開催

1 第1回 臨時評議員会（令和5.4.1 書面決議）

- (1) 理事・評議員の選任

2 第1回 理事会（令和5.4.1 書面決議）

- (1) 専務理事の選任

3 第2回 理事会（令和5.6.6 札幌サンプラザ）

- (1) 令和4年度 事業報告
- (2) 令和4年度 決算報告及び監査報告
- (3) 定時評議員会の開催について

4 定時評議員会（令和5.6.29 札幌サンプラザ）

- (1) 令和4年度 事業報告
- (2) 令和4年度 決算報告
- (3) 理事・評議員の選任

5 第3回 理事会（令和6.3.27 札幌サンプラザ）

- (1) 新10年経営計画の改定
- (2) 令和6年度 事業計画
- (3) 令和6年度 収支予算
- (4) 定年延長及び規則・規程の改正
- (5) 臨時評議員会の開催について